

第2次伊予市総合計画後期基本計画新旧対照表

	変更後	変更前	備考
1 ページ 2 社会的背景	(中略) 本市の実情や特性を踏まえ、地域が自立し、互いに助け合いながら、まちづくりを進めていくことが重要となっています。	(中略) 伊予市の実情や特性を踏まえ、地域が自立し、互いに助け合いながら、まちづくりを進めていくことが重要となっています。	伊予市、本市、市の表現の統一
1 ページ 2 社会的背景	¹ ICT (Information and Communication Technology の略) …情報通信技術 ¹ AI(Artificial Intelligence の略)…人工知能 ¹ リモートワーク…遠隔勤務。テレワーク…時間や場所を選ばず仕事できる働き方 ¹ Society5.0…国が提唱する、最新技術を活用した便利な社会 ¹ 地方創生 SDGs…持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指した魅力的なまちづくり	(新規)	注釈の追加
3 ページ ① 総合計画と総合戦略の位置付け	(中略) 本市においても平成28年3月に「伊予市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)」を策定しました。	(中略) 伊予市においても平成28年3月に「伊予市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)」を策定しました。	伊予市、本市、市の表現の統一
3 ページ ① 総合計画と総合戦略の位置付け	¹ KPI(Key Performance Indicator の略)…目標に到達するために実行すべき過程を評価する基準	(新規)	注釈の追加
5 ページ (4) まちの特異性	市の中心部である郡中は、寛永13(1636)年、大洲藩の許可を得て、民間人の資本により荒地を開墾して…	伊予市の中心部である郡中は、寛永13(1636)年、大洲藩の許可を得て、民間人の資本により荒地を開墾して…	伊予市、本市、市の表現の統一
5 ページ	市内には、JR予讃線の内子線と愛ある	伊予市内には、JR予讃線の内子線と愛ある	伊予市、本市、市

(5) 交通便利性	伊予灘線の2線が国道と並行して走っており…	伊予灘線の2線が国道と並行して走っており…	の表現の統一
6 ページ (1) 人口推移	<u>本市</u> の人口は、約 36,800 人です。	<u>伊予市</u> の人口は、約 36,800 人です。	伊予市、本市、市の表現の統一
7 ページ (2) 年齢3区分別人口の推移	<u>本市</u> の年少人口（15歳未満）は、昭和55（1980）年から平成27（2015）年までの35年間で半減しており…	<u>伊予市</u> の年少人口（15歳未満）は、昭和55（1980）年から平成27（2015）年までの35年間で半減しており…	伊予市、本市、市の表現の統一
7 ページ (3) 年齢別人口の推移	昭和55（1980）年における <u>本市</u> の年齢別構成は…	昭和55（1980）年における <u>伊予市</u> の年齢別構成は…	伊予市、本市、市の表現の統一
9 ページ (4) 人口増減の状況	<u>本市</u> の住民基本台帳による人口推移を見ると…	<u>伊予市</u> の住民基本台帳による人口推移を見ると…	伊予市、本市、市の表現の統一
11 ページ (6) 社会増減の分布	令和元（2019）年における <u>本市</u> の転入元、転出先の上位地域は…	令和元（2019）年における <u>転入数、転出数</u> の上位地域は…	本市を入れて分かりやすい表記に変更
12 ページ (1) 将来人口推計	<u>本市</u> の人口は、2040年に30,000人を切り28,300人となり、	<u>伊予市</u> の人口は、2040年に30,000人を切り28,300人となり、	伊予市、本市、市の表現の統一
13 ページ (3) 年齢別の将来推計人口	令和27（2045）年における <u>本市</u> の年齢別人口構成ピラミッドは	令和27（2045）年における <u>伊予市</u> 年齢別人口構成ピラミッドは	伊予市、本市、市の表現の統一
14 ページ 3 人口の将来展望	<u>本市</u> の合計特殊出生率 <u>本市</u> の目標人口	<u>伊予市</u> の合計特殊出生率 <u>伊予市</u> の目標人口	伊予市、本市、市の表現の統一
15 ページ	まちづくりに不可欠な要素の1つ目とし	まちづくりに不可欠な要素の1つ目とし	文言の修正

1 基本理念と将来像	て、「生活環境の向上」については、子どもから <u>高齢者</u> まで、誰もが安心して生活できる環境を構築することが必要です。 (中略) 3つ目の「市民と行政の意識改革」に関しては、 <u>市</u> 独自の方向性や考え方をしっかりと持った上で、	て、「生活環境の向上」については、子どもから <u>お年寄り</u> まで、誰もが安心して生活できる環境を構築することが必要です。 (中略) 3つ目の「市民と行政の意識改革」に関しては、 <u>伊予市</u> 独自の方向性や考え方をしっかりと持った上で、	伊予市、本市、市の表現の統一
16 ページ 関係図課題③	<u>市</u> 独自の方向性や考え方をしっかりと持った上で、今後もまちづくりを展開することが重要	<u>伊予市</u> 独自の方向性や考え方をしっかりと持った上で、今後もまちづくりを展開することが重要	伊予市、本市、市の表現の統一
18 ページ (2) 未来戦略プロジェクトに関連する分野	<u>“未来戦略1の一部に「環境保全」”</u>	<u>“未来戦略2に「環境保全・創造」”</u>	横連携の見直し
19 ページ 未来戦略1	子どもから <u>高齢者</u> までが住みやすく、快適に生活できる環境を構築することで、住み続けたいくなる「まち」にしていくことが大切です。	子どもから <u>お年寄り</u> までが住みやすく、快適に生活できる環境を構築することで、住み続けたいくなる「まち」にしていくことが大切です。	文言の修正
22 ページ 情報発信強化プロジェクト	<u>↑ SNS(Social Networking Service の略)…登録した利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービス</u>	<u>(新規)</u>	注釈の追加
24 ページ 役割分担	・会合へ <u>参加し</u> 、参加者としてコミュニケーションをとる <u>(削除)</u>	・会合へ <u>の</u> 参加し、参加者としてコミュニケーションをとる ・ <u>情報発信</u>	文言の修正 重複項目の削除
25 ページ 未来技術の活用プロジェクト	<u>↑ AI…1ページ参照。RPA (Robotic Process Automation の略) …コンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作で処理すること。</u>	<u>(新規)</u>	注釈の追加

ト	<p><u>1 チャレンジショップ…商売経験のない人や独立して事業を始めることが困難な人に対し、家賃や管理費を無償又は低額で貸し出す制度。空き家・空き店舗対策にもなる。</u></p> <p><u>1 リノベーション…既存建物の大規模改修</u></p> <p><u>1 5G…携帯電話などの通信に用いられる次世代通信規格。Society5.0…1ページ参照</u></p>		
26 ページ 雇用・担い手の確保プロジェクト	<p><u>地域産業を応援するために、地域で消費する(購入する)</u></p>	<p><u>地域産業を応援するために、地域にお金を落とす</u></p>	<p>文言の修正</p>
26 ページ 未来戦略3	<p><u>人口減少を食い止め、地域を将来にわたり維持存続させるためには、これまでの地域の繋がりを見直し、多世代が交流できる環境やマインドづくりが必要です。また、移住者の受け入れ体制や支援を充実する必要があります。</u></p>	<p><u>人口減少を食い止め、地域を将来にわたり維持存続させるためには、定住者や移住者の受け入れ体制の構築、多世代が交流できる環境やマインドづくりが必要です。</u></p>	<p>内容の修正</p>
27 ページ 人材活用プロジェクト	<p><u>1 デジタル人材…最先端技術の知識を用いて、業務変革など価値を提供することができる人</u></p>	<p>(新規)</p>	<p>注釈の追加</p>
28 ページ コミュニティ形成プロジェクト	<p><u>1 市民討議会…無作為に選んだ市民から参加希望を募り、希望参加者により議論をする会議</u></p>	<p>(新規)</p>	<p>注釈の追加</p>
29 ページ 基本目標1	<p><u>豊かな自然を次世代へつないでいくために、リサイクルのさらなる普及や再生可能エネルギーの導入など、自然環境に配慮した循環型社会づくりを目指します。また、地域のボランティア団体や市民との協働により、快適で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</u></p>	<p><u>豊かな自然を次世代へつないでいくために、自然環境に配慮した循環型社会づくりを目指します。また、リサイクルのさらなる普及や再生可能エネルギーの導入など、地域のボランティア団体や市民との協働により取り組み、快適で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</u></p>	<p>文章構成の変更</p>

30 ページ 基本目標 2	保健・医療・福祉の連携を推進し、子どもから <u>高齢者</u> まで各年代に適応した未病対策・介護予防・健康づくりに取り組み、地域医療の充実を図りながら健康寿命の延伸を目指します。	保健・医療・福祉の連携を推進し、子どもから <u>お年寄り</u> まで各年代に適応した未病対策・介護予防・健康づくりに取り組み、地域医療の充実を図りながら健康寿命の延伸を目指します。	文言の修正
30 ページ 基本目標 2	2 -① 次代を担う <u>子ども</u> たちの育成支援	2 -① 次代を担う <u>子供</u> たちの育成支援	子供⇒子どもに統一
31 ページ 基本目標 3	子どもから <u>高齢者</u> まで多様な学びの機会の充実を図るとともに、地域固有の伝統や歴史・文化を大切にし、未来へ継承できるように努めます。	子どもから <u>お年寄り</u> まで多様な学びの機会の充実を図るとともに、地域固有の伝統や歴史・文化を大切にし、未来へ継承できるように努めます。	文言の修正
36～39 ページ 2 SDGs への取組	SDGs17のゴール（目標）と総合計画施策との対応一覧表	総合計画の施策と SDGs17 のゴール対応一覧表	表題の変更（SDGsを前に持ってくる。）
40 ページ 体系図	未来戦略、基本目標の数字⇒全角 2-① 次代を担う <u>子ども</u> たちの育成支援	未来戦略、基本目標の数字⇒半角 2-① 次代を担う <u>子供</u> たちの育成支援	表現の修正 子供⇒子ども
基本計画 【KPI】	【重要業績評価指標の現状把握値と目標値（令和7年度）】 目標値 令和、平成（年度）	【重要業績評価指標】 目標値（R7） R、H	元号は全て令和、平成に統一。数字は1桁を全角、2桁以上を半角に統一。元号表記としたため、目標値の欄の記載を変更
44 ページ 1-①	※エリアマネジメントとは、 <u>地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるため、住民・事業主等が積極的に活動に参加する取組のこと。</u>	(新規)	注釈の追加
45 ページ	都市のコンパクト化及び適正な土地利用の促進	都市のコンパクト化の推進	取組の方針の追

1-① 取組の方針	進		記
45 ページ 1-①摘要	都市部の人口密度を維持するため、立地適正化計画における居住誘導区域にゆるやかに居住の誘導を図るとともに、郊外部では <u>地区計画等により、周辺環境に配慮した適正な土地利用を図ります。</u>	都市部の人口密度を維持するため、立地適正化計画における居住誘導区域にゆるやかに居住の誘導を図ります。	摘要の追記
45 ページ 1-① 主要な事業	・松山広域都市計画区域マスタープラン改訂 ・立地適正化計画改訂 ・ <u>地区計画策定</u>	・松山広域都市計画区域マスタープラン改訂 ・立地適正化計画改訂	主要な事業の追加
46 ページ 1-② 主なSDGs	歩行者に <u>安全・安心な</u> 道路環境が整い、福祉サービスが受けやすい交通網づくりを目指します。	歩行者に <u>安全安心な</u> 道路環境が整い、福祉サービスが受けやすい交通網づくりを目指します。	安全安心、安心安全を「安全・安心」に統一
47 ページ 1-②摘要	市民が安全に安心して移動することができる公共交通機関を提供するとともに、広報紙・市公式ホームページ等を活用することにより、周知・啓発に努めます。	市民が安全に安心して移動することができる公共交通機関を提供する__とともに、広報紙・市公式ホームページ等を活用することにより、周知・啓発に努めます。	文言の修正
49 ページ 1-③摘要	<u>デジタル技術の活用により、市民一人ひとりのニーズに合ったサービス提供に取り組み、誰一人取り残さない住民本位の形でのデジタル化を推進します。</u>	<u>情報発信の充実を図り開かれた市役所を目指すとともに、行政手続きのデジタル化を図り住民本位の形でのサービス提供に取り組みます。</u>	内容の修正
49 ページ 1-③	※BPR (Business Process Re-engineeringの略)、既存業務の構造を抜本的に見直すこと。 ※デジタルリテラシーとは、インターネットを中心としたデジタル情報や通信、また、それらを活用するパソコンなどの機器に知識を持ち、利用する能力のこと。 ※プッシュ型ユーザーとは、行政からの通知サービスを自動で受け取る手続きを登録した人のこと。	(新規)	注釈の追加

50 ページ 1-④ 主な SDGs	市営住宅は耐震化やバリアフリーなど安全対策を施し、必要としている市民に提供される仕組みづくりを目指します。	市営住宅は耐震化やバリアフリーなど安全対策を施し、必要としている市民に提供される仕組み_____を目指します	文言の修正
50 ページ 1-④	※ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、能力の違いに関わらず、出来るだけ多くの人 が利用できることを目指した設計(デザイン) のこと。	(新規)	注釈の追加
55 ページ 1-⑥ 重要 業績指標	実施年度における森林整備(間伐)を実施し ます。 ha/年 180(目標値)	実施年度における森林整備(間伐)面積を維 持し、整備します。 ha 120(目標値)	内容の修正
56 ページ 1-⑦ 主な SDGs	SDGs アイコン 11、12_____ ____13、14	SDGs アイコン 11、12、17 4、13、14	アイコン数をほ かの施策に合わ せ減少
57 ページ 1-⑦ 主要 な事業	・ごみアプリ利用率向上 ・住宅用新エネルギ ー機器設置事業費補助事業	・ごみアプリ利用率向上 _____	事業の追加
57 ページ 1-⑦ 重要 業績評価 指標	ごみの排出量(令和元年度) 9,822 トン	ごみの排出量(令和元年度) 11,123 トン	数値の修正
57 ページ 1-⑦ 重要 業績評価 指標	再資源化率の向上(令和元年度) 17%	再資源化率の向上(令和元年度) 15%	数値の修正
58 ページ 施策名	次代を担う子どもたちの育成支援	次代を担う子供____たちの育成支援	子供⇒子ども
58 ページ 2-① 施策 の目標	誰もが安心して子育てができる環境を整え、 子育て世代が____市内で子育てしたいと思う まちとなるよう、地域ぐるみで家庭教育を支	誰もが安心して子育てができる環境を整え、 子育て世代が伊予市内で子育てしたいと思う まちとなるよう、地域ぐるみで家庭教育を支	文言の修正

	援する体制の構築を目指します	援する体制の構築を目指します	
58 ページ 2-① 主な SDGs	家庭内の虐待がなくなり、児童の疾病時には安心して看護が受けられるなど、保護者が安心して働ける環境整備を図り、全ての児童が健康に生活できる、健全な社会づくりを目指します。	家庭内の虐待がなくなり、児童の疾病時には安心して看護が受けられるなど、保護者が安心して働ける環境整備を図り、全ての児童が健康で健全な社会づくりを目指します。	内容の修正
59 ページ 2-① 重要 業績評価 指標	病児・病後児保育事業利用充足率 99.4% (令和元年度)	病児・病後児保育事業利用充足率 100% (令和2年度)	数値の修正
61 ページ 2-② 重要 業績評価 指標	3歳児健診での肥満児(+15%以上)の割合を減らします。 現状：4% (令和元年度) 目標：3.8% (令和7年度)	(新設)	新設
61 ページ 2-② 重要 業績評価 指標	(削除)	学校給食における県内産の地場産品を使用する割合を増やします。 現状：54.8% (令和元年度) 目標：60% (令和7年度)	削除 学校給食に関する指標は3-①に統合
62 ページ 2-② 主な SDGs	11	9	SDGsの目標変更
63 ページ 2-③ 取組 の方針と 主要な事 業	市民全体の健康増進や生きがいにつながる活動の支援及び介護予防事業や生活支援サービス事業の展開により、健康で自立した生活・活動への支援を行います。	市民全体の健康増進や生きがいにつながる活動の支援や介護予防事業や生活支援サービス事業の展開により、健康で自立した生活・活動への支援を行います。	文言の修正
70 ページ 3-③ 主な SDGs	行政、関係団体、市民等の繋がりを強化し、 _____コミュニティ推進の中核的な存在に育てます。	行政による関係団体や市民等の繋がりを強化し、 _____コミュニティ推進の中核的な存在に育てます。	内容の修正
73 ページ	青少年スポーツ団体や競技団体等の育成・支	青少年スポーツ団体や競技団体等の育成・支	伊予市、本市、市

3-④摘要	援を行い、 <u>本市</u> のスポーツ活動を活性化させます。	援を行い、 <u>伊予市</u> のスポーツ活動を活性化させます。	の表現の統一
73 ページ 3-④重要業績評価指標	スポーツ協会加盟団体数を維持します。 目標： <u>34</u> 団体	スポーツ協会加盟団体数を維持します。 目標： <u>30</u> 団体	目標値の修正
75 ページ 3-⑤摘要	地域文化の担い手不足の解決に向け、伝統的な芸能や技術などを体験したり、学習したりできる機会を創出するとともに、 <u>団体・サークル等の支援、育成に努めます。</u>	地域文化の担い手不足の解決に向け、伝統的な芸能や技術などを体験したり、学習したりできる機会を創出します。	摘要の見直し
76 ページ 4-①主なSDGs	農業用施設を整備し、先を見据えた詳細な土地利用計画、制度等を策定した上で、適切な保全管理を行い、耕作放棄地の問題解消を目指します。スマート農業を推進して、 <u>超省力・高品質生産の実現を目指し、強靱なインフラ整備と技術革新の拡大を図ります。</u>	農業用施設を整備し、先を見据えた詳細な土地利用計画、制度等を策定した上で、適切な保全管理を行い、耕作放棄地の問題解消を目指します。スマート農業を推進して、 <u>長省力・高品質生産の実現を目指し、強靱なインフラ整備と技術革新の拡大を図ります。</u>	文言の修正
77 ページ 4-①取組の方針	<u>(削除)</u>	<u>耕作放棄地の発生防止の推進</u> <u>耕作放棄地発生防止に向け、企業等の参入促進に取り組みます。地域住民の共助による集落営農活動を支援します。</u>	取組の方針の見直し
77 ページ 4-①主要な事業	<u>・農業次世代人材投資事業</u> <u>・有害鳥獣駆除事業</u> <u>・有害鳥獣捕獲隊育成事業</u> <u>・農地中間管理事業</u> <u>・中山間地域等直接支払交付金事業</u>	<u>・次世代ファーマーサポート事業</u> <u>・有害鳥獣駆除事業</u> <u>・有害鳥獣捕獲隊育成事業</u> <u>・農地利用意向状況調査</u> <u>・農地中間管理事業</u> <u>・多面的機能発揮促進事業</u>	主要事業の見直し
77 ページ 4-①重要業績評価指標	<u>日本型直接支払制度（多面的、中山間、環境保全）に取り組む農地面積を維持します。</u> <u>現状：1,509ha（令和2年度）</u> <u>目標：1,389ha</u>	<u>耕作農地（維持管理を含む。）を維持します。</u> <u>現状：2,819ha（令和2年度）</u> <u>目標：2,800ha</u>	重要業績評価指標見直し
78 ページ 4-②主な	市内の林業・水産業者が生産性を高め、質の高い生活を維持できる所得を得ることが可能	市内の林業・水産業者が生産性を高め、質の高い生活を維持できる所得を得ることができ	文言の修正 できる～できる

SDGs	な状況を目指します。	る状況を目指します。	～
79 ページ 4-② 重要業績評価指標	実施年度における森林整備（間伐）を実施します。 現状：120ha/年（令和2年度） 目標：180ha/年	実施年度における森林整備（間伐）面積を維持し、整備します。 現状：120ha（R2年度） 目標：120ha	内容の修正
80 ページ 4-③ 現状と課題	一方で個々の店舗や地域商店街では、消費者の購買行動の変化や後継者不足を要因とする事業の縮小、転業、廃業が続いており、 <u>_____</u> かつての賑わいが薄れています。また、 <u>_____</u> 企業誘致においては、誘致基盤が乏しい中で苦慮している上、起業、創業も停滞するなど、雇用の創出が喫緊の課題となっています。	一方で中心市街地の商店街 <u>_____</u> では、 <u>_____</u> 後継者不足を要因とする事業の縮小、転業、廃業が続いており、 <u>_____</u> 商店街のかつての賑わいが薄れています。また、 <u>_____</u> 働く場所が少ないというイメージもありますが、まとまった工業用地もなく、企業誘致が進まない上、起業・創業も停滞している状況です。	内容の修正
80 ページ 4-③ 主なSDGs	事業承継の促進、新規 <u>_____</u> 創業者の増加により <u>_____</u> 地域商店街に競争が生まれ、市内全体が活性化した状態を目指します。企業と連携し、全ての労働者が健康で働けるよう、安全・安心な労働環境づくりを進めます。	事業承継の促進、新規の創業者の増加により <u>_____</u> 中心市街地に競争が生まれ、市内全体が活性化した状態を目指します。企業と連携し、全ての労働者が健康で働けるよう、安全・安心な労働環境づくりを進めます。	文言の修正
80 ページ 4-③ 主なSDGs	既存・新規に関わらず、全ての市内事業者が消費者とのコミュニケーションの深化に努めるとともに、食品ロスを始めとする廃棄物の削減に取り組み、成果が上がる状況を目指します。	既存・新規に関わらず、全ての市内事業者が <u>_____</u> 食品ロスを始めとする廃棄物の削減に取り組み、成果が上がる状況を目指します。	内容の修正
81 ページ 4-③ 主要な事業	・商工振興事業 ・農村地域への産業の導入に関する実施計画策定 ・創業支援事業 ・雇用促進事業	・商工振興事業 <u>_____</u> <u>_____</u> ・創業支援事業 ・雇用促進事業	事業の追加
81 ページ 重要業績評価指標	(削除)	中心商店街の一日当たりの通行者を維持します。 現状：1,400人（令和元年度） 目標：1,400人	削除 通行者に関する指標は1-①に

81 ページ 重要業績 評価指標	新規創業者を増やします(令和3年度から7年度までの累計とします)。 現状：9人(令和2年度) 目標：50人	新規創業者を増やします_____。 現状：9人(令和2年度) 目標：50人	文言の修正
81 ページ 重要業績 評価指標	製造品年間出荷額を増やします。 現状：763億円(平成30年) 目標：800億円	製造品_____出荷額を増やします。 現状：763億円(平成30年) 目標：800億円	文言の修正
82 ページ 4-④	※インバウンドとは、外国人が訪れてくる旅行のこと。	(新規)	注釈の追加
83 ページ 4-④	※E-バイクとは、スポーツタイプの電動アシスト自転車のこと。	(新規)	注釈の追加
84 ページ 4-⑤ 主な SDGs	新たな開発手法による_____市オリジナルの特産品を開発し、その手法やモデルをセミナーや講演会で市外に広めます。また、商品開発により、雇用の促進も図れる状態を目指します。	新たな開発手法による伊予市オリジナルの特産品を開発し、その手法やモデルをセミナーや講演会で市外に広める、_____また_____商品開発により、雇用の促進も図れる状態を目指します。	文言の修正
84 ページ 4-⑤ 主な SDGs	食育を推進し、_____食の重要性や世界の食糧事情を学ぶ機会を増やします。その積み重ねにより、食に対する理解を深め、残食や食品ロスの削減につなげます。	食育の推進を行い、食の重要性や世界の食糧事情を学ぶ機会を増やします。その積み重ねにより、食に対する理解を深め、残食や食品ロスの削減につなげます。	文言の修正
84 ページ 4-⑤ 主な SDGs	新規就農者や就漁者等の次代の担い手を確保・育成し、_____市の特産品の基礎となる農業や漁業の維持を目指します。	新規就農者や就漁者等の次代の担い手を確保・育成し、伊予市の特産品の基礎となる農業や漁業の維持を目指します。	伊予市、本市、市の表現の統一
86 ページ 5-① 主な SDGs	全ての人々がまちづくりに参加し、地域レベル、市全体レベルにおいて、住民の <u>声</u> が反映されたまちづくりを推進します。	全ての人々がまちづくりに参加し、地域レベル、市全体レベルにおいて、住民の <u>総意</u> が反映されたまちづくりを推進します。	文言の修正
86 ページ 5-① 主な SDGs	老若男女を問わず 参画し、お互いを尊重し、誰もが発言できる環境を目指します。	老若男女が関係なく参画し、お互いを尊重し、誰もが発言できる環境を目指します。	文言の修正
87 ページ	・ _____まちづくり交付金交付事業 ・ 市政懇	・ 伊予市まちづくり交付金交付事業 ・ 市政懇	文言の修正

5-① 主要な事業	談会・ミニ懇談会制度 ・ _____ 広報区長協議会研修費補助事業 ・ _____ 集会所整備(改修等)補助事業	談会・ミニ懇談会制度 ・ <u>伊予市</u> 広報区長協議会研修費補助事業 ・ <u>伊予市</u> 集会所整備(改修等)補助事業	
87 ページ 5-① 重要業績評価指標	<u>住民自治組織に関する研修会を実施します。</u> 現行：0回(令和2年度) 目標：4回	<u>住民自治組織を増やします。</u> 現行：1団体(令和2年度) 目標：2団体	目標設定の変更
88 ページ 5-② 主なSDGs	地方自治法に基づく審議会等における女性割合の増加や、働きやすい環境を整備するなど、目に見える形での男女共同参画社会の実現を目指します。	地方自治法に基づく審議会や市議会における女性割合の増加など、 目に見える形での男女共同 _____ 社会の実現を目指します。	文言の修正
88 ページ 5-②	※ポジティブ・アクションとは、男女労働者間に役割分担意識などの差が生じている場合、その差を解消するため、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組のこと。	(新規)	注釈の追加
89 ページ 5-② 主要な事業	・ _____ 女性リーダー育成委員会補助金交付事業	・ <u>伊予市</u> 女性リーダー育成委員会補助金交付事業	文言の修正
90 ページ 5-③ 現状と課題	市では、事務事業評価を継続して実施しており、各事務事業の事業内容や費用負担について公開しています。また地方財政の状況がさらに厳しさを増す中、持続可能な財政基盤を確立するため、施設使用料や補助金の見直しを進めています。今後も積極的な情報公開により、透明性を高めると共に、分かりやすい説明が必要になっています。(以下略)	市では、事務事業評価を継続して実施しており、各事務事業の事業内容や費用負担について公開しています。また地方財政の状況がさらに厳しさを増す中、持続可能な財政基盤を確立するため、施設使用料や補助金の見直しを進めています。 _____ 積極的な情報公開により、透明性を高めると共に、分かりやすい説明が必要になっています。(以下略)	文言の修正
90 ページ 5-③ 主なSDGs	公共施設の適正配置を進め、効率的な施設運営を行うことにより、必要性の高い公共サービスが持続できる状態を目指します。	公共施設の適正配置を進め、効率的な施設 _____ を行うことにより、必要性の高い公共サービスが持続できる状態を目指します。	文言の修正